

● 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当の基準日	
期 末 配 当	3月31日
中 間 配 当	9月30日
定 時 株 主 総 会	毎年6月
株 主 名 簿 管 理 人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
上 場 証 券 取 引 所	大阪証券取引所JASDAQ（スタンダード）
公 告 の 方 法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.ajis-group.co.jp/ir/e-koukoku/index.html （ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱 UFJ 信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱 UFJ 信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱 UFJ 信託銀行）にお問合せください。なお、三菱 UFJ 信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱 UFJ 信託銀行本支店でお支払いいたします。



● 株主優待制度のご案内

株式会社エイジスは、株主の皆様への利益還元のひとつとして株主優待制度を実施しております。



●割当基準日 9月末日

●優待内容

100株以上1,000株未満所有の株主様

お米券3kgを贈呈いたします。

1,000株以上10,000株未満所有の株主様

お米券5kgを贈呈いたします。

10,000株以上所有の株主様

お米券10kgを贈呈いたします。

ajiyaエイジス

株式会社エイジス

〒262-0032 千葉県千葉市花見川区幕張町4-544-4

TEL：043-350-0888 FAX：043-350-0800

●コーポレートマークの由来

ロゴマークは、ローマ字・キータッチ・カタカナの三位体で構成されています。またエイジスのコーポレートカラーである白・青・赤は、白=お客様に対して誠実に仕事をする姿勢、青=冷静・沈着な作業態度、そして赤=エイジスマン・ウーマンの胸に秘めた情熱を表しています。

“Low Cost Operation” 時代の棚卸システム

ajiyaエイジス



プロフェッショナル集団の構築と エイジス発の世界標準オペレーション。 これらによる競争優位性の確立が 新たな成長への道を拓きます。

代表取締役社長 齋藤 昭生

Q >> 上期の業績について、
お聞かせください。

平成23年3月期第2四半期累計の連結売上高は8,733百万円で前年同期比3.2%の減収、営業利益は857百万円で前年同期比14.5%の減益となりました。

特別損失115百万円を計上し、純利益は432百万円となり前年同期比20.0%の減益となりました。

売上高が減少した原因は、顧客の棚卸の回数減や自社棚卸への移行、および店舗の在庫減です。また売上原価は、生産性の改善がみられるものの、棚卸料金の料率低下の影

響および囑託社員の定着促進による経費増などがあり、前年同期比で悪化しております。販売管理費は、今後の成長に向けての投資として、独自技術の開発、海外展開、人材育成など、ほぼ計画通りとなりました。

特別損失の主な要因は棚卸システムに関するシステム開発方法を見直したことで102百万円を計上しています。

特別損失を計上しましたこのシステム開発の狙いは2つありました。一つ目はフィールドオペレーションを単純化することによりミス削減と生産性向上をはかること。二つ目は顧客別に開発していた個別機能を汎用化することにより開発とメンテナンスのコストを下げるということです。

このような目的でシステム開発を進めてきましたが、今年7月にスケジュールの遅れが顕在化したため、精査した結果、9月に「汎用化を追求しすぎた」と結論をだし、今後の開発総コスト増大を鑑み、減損処理をして、開発手法を抜本見直しすることにしました。

Q >> その他のセグメント別の取り組みと業績についてお聞かせください。

海外棚卸サービス事業は、売上高204百万円(前年同期比19.8%増)となりました。

コンビニエンスストアで新規受注ができたことが寄与しています。また、大口顧客が循環棚卸へ移行し繁閑の波の格差を緩和することができました。

人材派遣事業は、売上高625百万円(前年同期比12.4%減)となりました。レジ派遣・集中補充等が減収した一方で、軽作業の受注増がありました。

Q >> 「独自技術を身につけたプロフェッショナル集団の構築」という取り組みについてお聞かせください。

当社は「独自技術を身につけたプロフェッショナル集団の構築」をスローガンに体質改善を進めています。

棚卸作業というのは、人海戦術で単に商品の数を数える作業と捉えがちですが、そうではなく、そこには独自技術があり、それをエイジスで働く一人一人に徹底的に教育することで、棚卸のプロフェッショナルを育成していくという方針です。

未経験の人が棚卸業務を行う場合と比較して、当社のスタッフが実施すると正確なことはもちろん、作業効率は約三倍の違いがあると認識しています。一般的な自社棚卸では、棚にある商品の一つ一つ数えて紙などに記録しますが、当社のスタッフによる棚卸では、当社独自の高度なカウント技術と棚卸専用端末によって、正確で効率の良い作業を行います。こうした当社独自の技術を習得したプロフェッショナルなスタッフの育成が、当社の競争優位性を高めています。その存在をアピールしていくことで、これまで自社で棚卸作業をしていた企業も、当社に依頼していただけるようになると考えております。

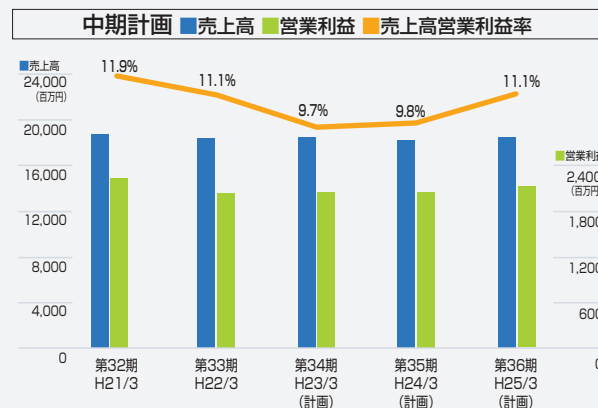
Q >> 今後の見通しについてお聞かせください。

今期と来期については、ほぼ横ばいの業績になると予測しており、業績全体が回復に向かうのは、再来期からと想定をしております。

今後の成長に不可欠なものは、海外への展開になります。日本で培われたオペレーションをエイジスグローバル統一オペレーションへと進化させていくことで、明確な競争優位性を国内外で確立していけると考えています。海外に関しましては、年率20%から30%の成長を目指していきます。北京や広州に加えてアジアに複数の拠点を設立する準備を進めています。

Q >> 最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

金融危機が起きる前までの当社は、流通小売業の成長に支えられて、右肩上がり売り上げを伸ばしてきました。



た。金融危機による経済環境の変化は、当社にとってより高い精度と生産性の実地棚卸サービスを提供できる体制へと変革していくチャンスだと受け止めています。株主の皆様には、これまでのご支援に深く感謝するとともに、今後の当社の取り組みをご理解いただき、引き続きさらなるご支援を賜りますように、お願い申し上げます。

「明らかな競争優位性の確立」へ

エイジス発、棚卸オペレーションのグローバルスタンダード

「エイジスグローバル統一オペレーション」の確立に向けた取り組み

グローバルで通用する統一オペレーションの確立で競争力を強化

エイジスは日本で高いシェアを維持できる優れた実地棚卸サービスを提供しています。しかし、グローバルでビジネス展開を推進していく上で、日本国内でのオペレーションが必ずしも世界で通用するとは限りません。グローバルで通用する統一オペレーションの確立を推進してまいります。

例えば、日本の棚卸業務では、売り場の商品とプライスカード(値札)がズレている場合には、商品についているバーコードをスキャンすることがあります。しかし、米国では商品とプライスカードが一致していることが前提でカウントするのが基本です。

その結果、棚卸担当者は作業に集中できるため、正確で効率の良い棚卸をすることができます。このような合理的な考え方やオペレーション手法をまとめたものを「エイジスグローバル統一オペレーション」と呼び、日本および海外において導入していきます。

海外での営業部隊の創設と日本からグローバルに通用する人材育成に注力

グローバル展開を加速していくため、今期から海外事業本部を設立しました。

この海外事業本部では、海外をターゲットとした海外営業推進部を擁し、日本から海外に進出する企業をはじめとして欧米のチェーンストアの営業を推進していきます。

今後、アジアでは急速に棚卸サービスの需要が顕在化していくと考えております。

また、棚卸の閑散期に、海外での長期研修を計画しています。海外研修を活用してグローバルに通用する人材育成に取り組んでまいります。さらに海外で採用したスタッフを日本で研修を行うことでエイジスの棚卸業務を習得してもらいます。日本で習得したエイジスの棚卸技術を海外で広めていきます。優れたスタッフを育成し海外での実地棚卸サービスを強化していきます。

海外への積極的な展開は、グローバルに通用する人材育成を通して、結果的に日本での競争力の強化につながると確信しています。



エイジスビジネスサポート株式会社

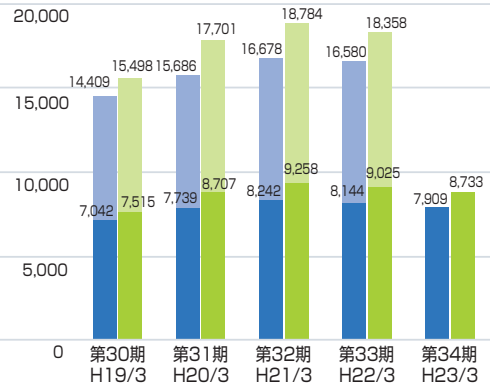


AJIS (MALAYSIA) SDN BHD.



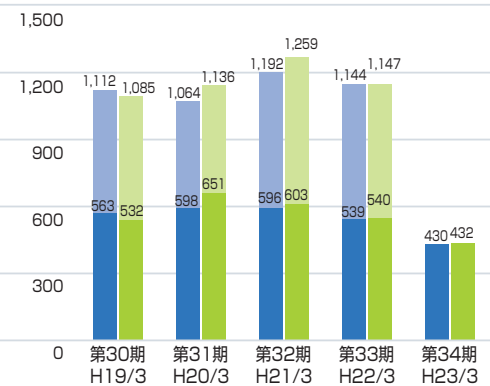
艾捷是(上海)商务服务有限公司

売上高 (単位：百万円)



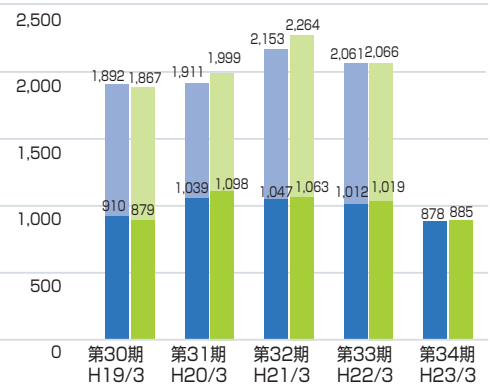
海外実地棚卸サービス事業は堅調なものの、国内実地棚卸サービス事業および人材派遣サービス事業が苦戦し、当四半期の連結売上高は前年同期比3.2%減の8,733百万円となりました。

四半期（当期）純利益 (単位：百万円)



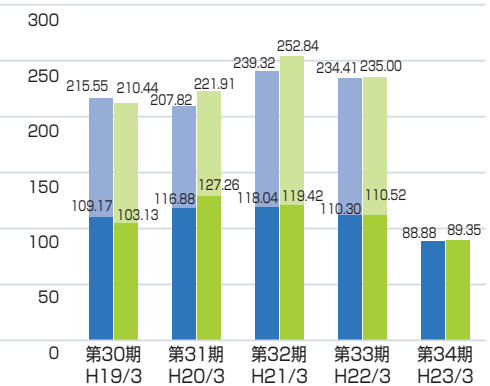
棚卸に関するシステムの開発方法の見直しなどにより特別損失115百万円を計上し、連結四半期純利益は前年同期比20.0%減の432百万円となりました。

経常利益 (単位：百万円)



生産性に改善がみられるものの、料率低下の影響と嘱託社員の定着促進策の実施などにより、当四半期の連結経常利益は前年同期比13.2%減の885百万円となりました。

1株当たり四半期（当期）純利益 (単位：円)

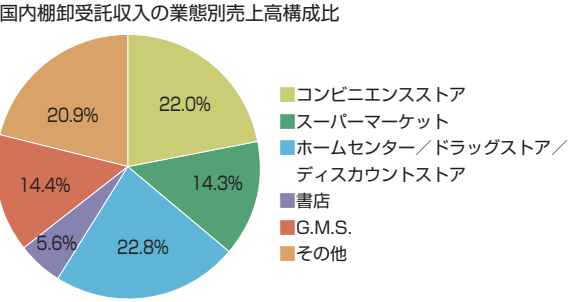
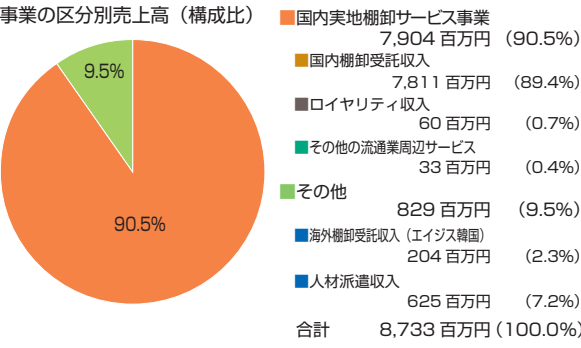


連結1株当たり四半期純利益は前年同期比21.17円減少し89.35円となりましたが、期末1株当たり配当予想45.00円と安定配当方針を継続しています。

当期の概況（連結）

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、一部の企業で収益改善の兆しがみられ、また、個人消費の持ち直しの動きが見られましたが、依然として続く厳しい雇用情勢や海外景気の下振れ懸念、デフレの影響などにより、急速な回復は見込めない状況にあります。

当社グループの主要顧客であります流通小売業においては、依然として厳しい経営環境が続いております。



セグメント別の概況

【国内実地棚卸サービス事業】

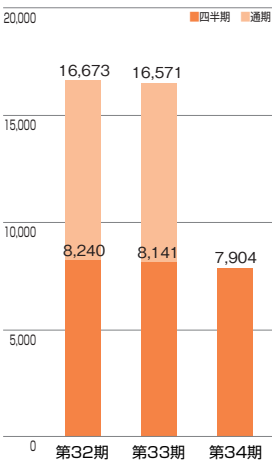
国内実地棚卸サービス事業は、G.M.S.(注) および100円ショップ等のその他の業態で売上が剥落しました。

(注) G.M.S.(General Merchandise Store)
大衆実用品のうち、新機能開発品主力の総合店。いわゆる日本型大型総合スーパーであります。

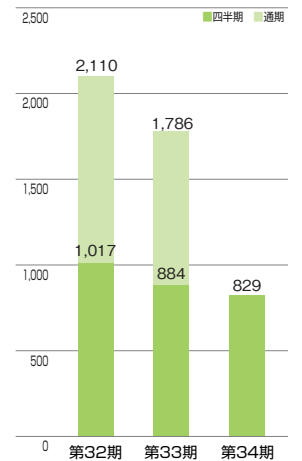
【その他】

海外実地棚卸サービス事業は堅調に推移したものの、人材派遣サービス事業は国内の経済状況を反映して依然厳しさが続いております。

国内実地棚卸サービス事業売上高 (単位：百万円)



その他売上高 (単位：百万円)



四半期連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

	当第2四半期 H22.9.30現在	前第2四半期 H21.9.30現在	前 期 H22.3.31現在
資産の部			
流動資産	6,524	5,824	6,300
固定資産	3,381	3,238	3,499
資産合計	9,906	9,062	9,800
負債の部			
流動負債	2,458	2,513	2,518
固定負債	333	136	363
負債合計	2,791	2,649	2,882
純資産の部			
株主資本合計	7,197	6,456	6,983
資本金	475	475	475
資本剰余金	489	489	489
利益剰余金	7,540	6,719	7,326
自己株式	△1,307	△1,228	△1,307
評価・換算差額等合計	△107	△69	△89
少数株主持分	24	26	24
純資産合計	7,114	6,412	6,918
負債純資産合計	9,906	9,062	9,800

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当第2四半期 H22.4.1～H22.9.30	前第2四半期 H21.4.1～H21.9.30	前 期 H21.4.1～H22.3.31
売上高	8,733	9,025	18,358
売上原価	6,492	6,673	13,594
売上総利益	2,241	2,352	4,763
販売費及び一般管理費	1,384	1,349	2,724
営業利益	857	1,003	2,039
営業外収益	44	27	59
営業外費用	16	10	32
経常利益	885	1,019	2,066
特別利益	0	0	—
特別損失	115	57	24
税金等調整前四半期(当期)純利益	770	962	2,041
法人税等	337	421	895
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	0	△1
四半期（当期）純利益	432	540	1,147

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当第2四半期 H22.4.1～H22.9.30	前第2四半期 H21.4.1～H21.9.30	前 期 H21.4.1～H22.3.31
営業活動によるキャッシュ・フロー	715	872	1,461
投資活動によるキャッシュ・フロー	△412	△711	△1,392
財務活動によるキャッシュ・フロー	△247	△220	△36
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	7	9
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	51	△52	42
現金及び現金同等物の期首残高	3,073	3,031	3,031
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高	3,125	2,979	3,073

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況（平成22年9月30日現在）

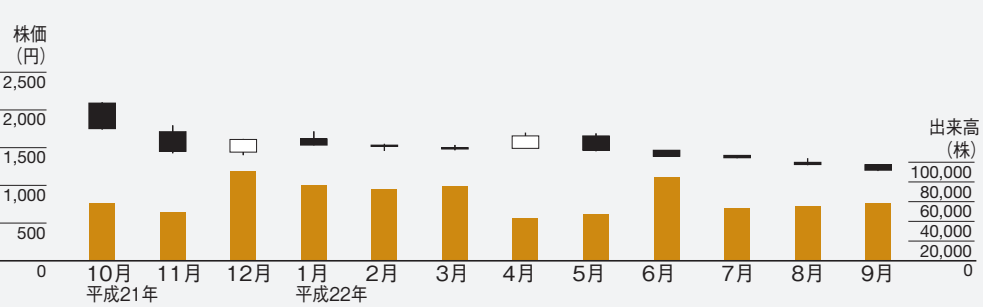
発行可能株式総数	14,000,000株
発行済株式の総数	5,385,600株
株主数	2,623名

大株主（上位10名）（平成22年9月30日現在）

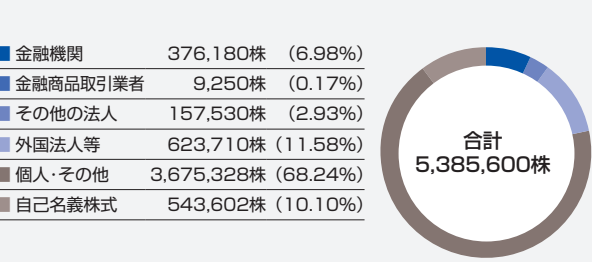
株主名	当社への出資状況	
	持株数（株）	出資比率（%）
齋藤昭生	789,880	14.66
齋藤陽子	655,800	12.17
ビービーエイチ フォー フィデリティー ロープライス ストックファンド	438,500	8.14
齋藤茂昭	408,100	7.57
齋藤泰範	275,670	5.11
齋藤茂男	203,900	3.78
小林美保子	191,800	3.56
野村信託銀行株式会社（投信口）	136,500	2.53
メロン バンク エヌエー トリーティー クライアント オムニバス	100,500	1.86
清水昭順	90,170	1.67

（注）当社は、自己株式543千株を保有しておりますが、当該株式には議決権がないため上記大株主から除外しております。

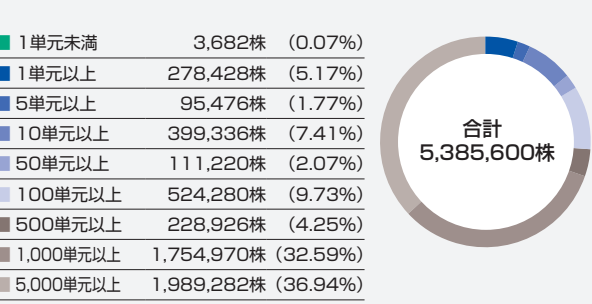
株価・出来高の推移



所有者別分布状況（平成22年9月30日現在）



所有株数別分布状況（平成22年9月30日現在）



会社概要

会 社 名	株式会社エイジス (英文名 AJIS CO.,LTD.)
資 本 金	475百万円
設 立 年 月 日	1978年5月23日
従 業 員 数	268名 (320名 ※連結)
営 業 拠 点	直営52ヶ所 FC35ヶ所 (合計87ヶ所)
業 務 内 容	●実地棚卸サービス ●その他の流通業周辺サービス
主要取引銀行	●三菱東京UFJ銀行 ●千葉銀行 ●みずほ銀行 ●三井住友銀行
ホームページ	http://www.ajis-group.co.jp/

取締役及び監査役

取 締 役 会 長	芦 部 克 生
代表取締役社長	齋 藤 昭 生
常 務 取 締 役	近 江 元
常 務 取 締 役	山 地 琢 巳
常 務 取 締 役	高 橋 一 人
取 締 役	竹之下 正 夫
取 締 役	秋 葉 孝
取 締 役	五十嵐 亨 司
取 締 役	戸 丸 富志夫
取 締 役	山 根 洋 行
取 締 役	森 和 弘 ※1
常 勤 監 査 役	鈴 木 行 雄
常 勤 監 査 役	増 子 泰 由 ※2
監 査 役	安 田 登 ※2

※1 森 和弘は、会社法に定める社外取締役であります。
※2 増子 泰由及び安田 登は、会社法に定める社外監査役であります。

主要取引先

コンビニエンスストア		
サークルKサンクス	セブン-イレブン・ジャパン	ポプラ
スリーエフ	デイリーヤマザキ	ミニストップ
セーブオン	ファミリーマート	ローソン
G.M.S.スーパーマーケット		
イオンリテール	サミット	ベルク
イズミ	サンセブン	マイカル
イズミヤ	西友	マックスバリュ
イトーヨーカ堂	大黒天物産	マルエツ
いなげや	テスコジャパン	万代
オークワ	東急ストア	みやぎ生協
オオゼキ	トヨタ生協	ヤオコー
オギノ	とりせん	ヤマザワ
オリンピック	長崎屋	ヤマナカ
カスミ	原信	ユーコープ事業連合
関西スーパーマーケット	バロー	ヨークベニマル
コープこうべ	平和堂	ライフコーポレーション
コープネット事業連合	ベイシア	
百貨店		
大丸松坂屋百貨店	東急百貨店	丸井
高島屋	阪急阪神百貨店	三越伊勢丹ホールディングス
天満屋	松屋	
ホームセンター/ドラッグストア/ディスカウントストア		
ウェルバーク	サンドラッグ	トステムビバ
カインズ	CFSコーポレーション	富士薬品
カワチ薬品	ジップドラッグ	PLANT
クスリのアオキ	島忠	ホームック
クリエイト エス・ディー	スギ薬局	マツモトキヨシ
ケーヨー	セイジョー	ユタカファーマシー
ゲンキー	セキチュー	ユニリビング
コーナン商事	ダイユーエイト	ライフオート
コクミン	千葉薬品	ロイヤルホームセンター
書店		
あおい書店	JR東日本リテールネット	宮協書店
旭屋書店	ジュンク堂書店	未来屋書店
ヴァレージヴァンガードコーポレーション	カルチュア・コンビニエンス・クラブ	有隣堂
紀伊國屋書店	文教堂	リブロ
三省堂書店	文真堂書店	
三洋堂書店	丸善	
その他		
赤ちゃん本舗	上新電機	ヒラキ
アディダス ジャパン	ジョルジオ アルマーニ ジャパン	藤久
エディー・パウアー・ジャパン	ゼビオ	ポイント
エディオン	セリア	メガスポーツ
ギャップジャパン	大創産業	やまや
キャンドゥ	東急ハンズ	ユニクロ
九九プラス	東京シャツ	ライトオン
クリスチャン ディオール	ドン・キホーテ	良品計画
クレアーズ日本	西松屋チェーン	ロフト
コーチ・ジャパン	ニトリ	ワークマン
コジマ	日本トイザらス	ワールド
コックス	バル	
ザラ・ジャパン	ビックカメラ	

※敬称・法人格は省略させていただいております。 ※50音順

●株式会社エイジス

青森D.O.	千葉D.O.	岡崎サテライト
秋田D.O.	市原D.O.	金山サテライト
盛岡サテライト	西千葉サテライト	四日市D.O.
仙台D.O.	柏D.O.	岐阜D.O.
山形サテライト	東京D.O.	金沢D.O.
郡山D.O.	南東京D.O.	富山サテライト
宇都宮D.O.	東東京D.O.	大阪D.O.
小山サテライト	吉祥寺D.O.	堺D.O.
水戸D.O.	八王子D.O.	東大阪D.O.
土浦サテライト	立川サテライト	奈良サテライト
新潟D.O.	横浜D.O.	京都D.O.
高崎D.O.	横浜関内D.O.	滋賀サテライト
長野D.O.	厚木D.O.	神戸D.O.
松本サテライト	町田サテライト	姫路D.O.
大宮D.O.	静岡D.O.	岡山D.O.
越谷サテライト	沼津サテライト	松江サテライト
川越D.O.	浜松D.O.	
熊谷サテライト	名古屋D.O.	

●エイジス九州株式会社

広島D.O.	福岡D.O.	八代サテライト
広島北サテライト	福岡東D.O.	宮崎D.O.
福山D.O.	久留米D.O.	鹿児島D.O.
山口D.O.	長崎D.O.	沖縄D.O.
下関サテライト	佐世保サテライト	沖縄北サテライト
小倉D.O.	佐賀D.O.	
大分D.O.	熊本D.O.	

●エイジス北海道株式会社

札幌D.O.	函館D.O.	帯広D.O.
札幌中央D.O.	旭川D.O.	釧路D.O.
苫小牧D.O.	北見D.O.	厚別D.O.

●エイジス四国株式会社

高松D.O.	高知D.O.	道後サテライト
徳島D.O.	香川西D.O.	
松山D.O.	新居浜D.O.	

(注) D.O. (ディストリクト オフィス) とは営業所のことです。
サテライトとは出張所のことです。



フランチャイズ3社、子会社
及び関連会社9社を含めたエ
イジスグループ全体の営業
ネットワークは国内、海外合
わせて99営業拠点です。

●子会社及び関連会社

- 子会社
エイジススタッフサービス株式会社 (千葉市 人材派遣事業)
仙台/東京/横浜/名古屋/大阪
エイジスビジネスサポート株式会社 (大韓民国 ソウル特別市 実地棚卸サービス事業)
ソウルD.O./プサンD.O./テジョンD.O./テグサテライト/スユサテライト/カンジュサテライト
大連愛捷是科技有限公司
(中華人民共和国遼寧省大連市 システム開発及び棚卸機器の開発・製造)
株式会社カスタマーサービス・チェック (千葉市 覆面調査)
エイジスシステム開発株式会社 (千葉市 システム開発)
艾捷是 (上海) 商务服务有限公司 (中華人民共和国上海市 実地棚卸サービス事業)
AJIS(MALAYSIA)SDN BHD. (マレーシア・セランゴール州 実地棚卸サービス事業)
エイジスコーポレートサービス株式会社 (千葉市 事務代行業務)
- 関連会社
台湾愛捷是股份有限公司 (台北市 実地棚卸サービス事業)